

復命書

2012年 1月 30日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	21012年1月21日(土)13:30~17:00	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	女性のための政治スクール第17期 剛堂会館(千代田区紀尾井町3-27)
	(2) 対 応 者	大泉 一貫 氏 宮城大学副学長
3 目 的	17期目を迎えた今回のテーマは。3月11日の震災を受けて、「質実国家をめざして」です。毎回タイムリーなテーマ、さまざまな講師の話が聞けて参考になる。これまでのエネルギー政策や日本人の生活様式の問題点、国の在り方などなど、今こそ、国難を乗り越えなければならない時。地方行政の在り方の見直しも含めて、経済、社会保障、雇用、税などの問題点を探る。この目的を達成すべく、参加する。	
4 内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>『農漁業の再生と被災地の現状』 大泉 一貫氏 宮城大学副学長</p> <p>① 震災後の復旧・復興の動向・現状</p> <p>★被災地の多くは農漁村であり、農林漁業を中心とした復興が求められている。</p> <p>★遊休化しかねない広大な農地資源の出現(およそ2万ヘクタールの水田)</p> <p>⇒これらは、原状回復による復興は不可能・少なくとも、宮城県の石巻から山元町までの宮城平野は本年度中の作付は不可能。</p> <p>★瓦礫、塩害、冠水状態⇒膨大な投資が必要</p> <p>★耕作者、担い手の急速な減少⇒震災によるやる気の喪</p>	

失、離村

★風評被害⇒販売の不振

②東日本大震災・農業の復興の動き

★自らの力で復旧復興する人へ一口オーナーによる支援
(新たな金融政策の登場)

※タビオ 3 年後に稲作復帰を目指す除塩プロジェクト

※蔵王ありがトン※牡蠣販売のアイリンク※OHガッツ 等

最も善意に満ちた直接金融

人々が、農業の意義を感じて直接投資する私募債等、
震災を機に導入されている。

③仙台湾岸平野部の復興は競争力のある農場の創出

※付加価値の高い農業の創出※食と農のフロンティア
ゾーンの創出※多様な農地活用の創出

④三陸地方は水産業のサプライチェーン構築と法人
化が復興のカギだ。⇔まずは、システム(流通等)を作
ることが大事・三陸一帯の国際観光地整備とあいまっ
て計画を進めるべきだ。

⑤放射能問題

農家の不安を払拭するのは、自らの自衛手段は情報公
開しかない。

農林水産産業の成長条件

農業は (一次産業) 衰退産業ではない。

※オランダの情報化する農業とロジスティックの構造

※デンマークの 6 次産業化する農業、食品産業との融
合

※スイスの観光と融合する農業

※フィンランド・ルウエーの生産性を向上させた林業と
水産業

つまり、

農業が地域経済のを牽引する強い産業となっている

農業が競争力のある産業になるには、顧客志向や他産業
のノウハウを取り入れ、生産性の高いビジネスモデル
を構築する必要がある。成熟社会であれば、国際競争
力のある輸出産業になり得る力を持っている。

5

成果・市政
への反映等

ほとんどが、田畑、港であった地域の再生は至難の業だと思う。それでもボランティア等にも支えられて、少しずつ見えてきている。国の対応は遅いと思わざるを得ない。私募債が一番直接的な支援のように思う。億を超える義援金の配り方や、避難所での支援物資の配分の仕方など、から見ても、行政のやり方は、平等や公平に拘りすぎてはいないだろうか。意欲があり、家業を再開しようとする時、しっかりとした支援を受けていれば、必ず、近いうちに、何倍ものお返しをしてくれるのではないだろうか。自然を相手に仕事を展開している方々は、今回のような打撃は計り知れないものだと思うが、そこから這い上がる意欲は本当に素晴らしい。直接的支援の情報が私には少なかった。もう少し情報収集すべきであったと思う。行政の方でもこれらを流してほしかった。何時か同じような状況になるかもしれない。人の支えの輪は平常時につくっておかなければならない。今回姉妹都市提携や友好都市間の支援は素晴らしいものがあつた。改めて自分たちの事として置き換えてみたい。

土地利用は、かなり難題だ。日本の農家の一軒の規模は小さい。効率良く経営していくには、努力だけでは解決できない。日本の農業の在り方も考える時期が来ている。t p p 問題も関係してくる。震災後の農業・漁業の再建から始まった話であつたが、日本の今後の第6次産業の在り方まで考えさせれ、興味深く聞いた。これを機会に、直接支援、OHガッツ等関わって見ようと思う。